

Campus Today



松本歯科大学

発行所 学校法人 松本歯科大学

長野県塩尻市広丘郷原1780

☎ (0263) 52-3100

www.mdu.ac.jp

1部60円

The 50th Anniversary

「建学の理念」を胸に抱いて前進 歯学部・大学院卒業証書並びに学位記授与式

2021年度松本歯科大学の卒業証書並びに学位授与式が冬晴れの1月31日（月）、本館7階講堂で挙行された。黒い角帽にガウンをまとった歯学部卒業生83人および大学院歯学独立研究科の修士（博士学位取得者）7人、合わせて90人が式に臨んだ。本年は創立50周年を迎える節目の年。卒業生たちは本学の歴史に思いを馳せ、希望を胸に新たな一歩を踏み出した。

新型コロナウイルス・オミクロン株の感染拡大が広がる中、卒業生は抗原検査を受け、全員の陰性を確認したうえで卒業式は挙行された。御父母、来賓には出席をご遠慮いただき、感染予防に配慮しながら式典の規模を縮小して行われた。

矢ヶ崎雅理事長は挨拶で「卒業おめでとう。皆さんは本当によく学んできました。皆さんが歯科医師国家試験を受けた1月29日は、50年前（1972年）に文部省から学校法人松本歯科大学設置が認可された記念すべき日です。創立者の父と共に命懸けでこの

大学を運営してきました。建学の理念にあるように、本学は佐久間象山、福沢諭吉先生の学訓に従い、国手的精神で新しい学問・人材をはぐくみ、真の近代民主主義の実現を目標に掲げています。本学の未来は皆さんの活躍にかかっています。これからも研鑽を積み、世界で活躍できる歯科医師になつてくださーい」と、はなむけの言葉を贈られた。

と呼ばれることになり、病をもった人たちが救済を求めて来ます。それには信頼される人格者となるべきで、また心身共に元気であれば良い仕事はできません。自身も健康に留意し、社会一般から信頼される立派な歯科医師になつてくださーい」と告辞した。

次に、歯学部卒業生の学業成績優秀者に矢ヶ崎康特別賞をはじめ各賞の表彰が行われた。卒業証書・学位記の授与は、卒業生が呼名されてそれぞれの席で起立一礼すると、スクリーンに本人の顔写真と国立印刷局謹製の卒業証書や学位記が映し出された。

呼名を受けた卒業生は宇田川信之歯学部長から卒業証書を受け取り、大須賀直人第6学年主任教授が角帽のタッセルを右側から左側に移した。左側のタッセルは卒業と歯科医学分野における学位取得を意味する。

卒業生を代表して答辞を述べた黄晟帆君は「大学生活の中で、私たちは先生方の熱心な指導を受け、臨床歯科医学の基礎を築くことができました。そして何より、かけがえない友人を得ることができ、共に勉学に励んだ時間は有意義で幸せなものでした。諸先生方をはじめ私たちを支えてくださったすべての皆様からの厚恩を決して忘れません。特に6年次には蒼穹会の皆様には多大なご支援を賜り、厚く御礼申し上げます」と6年間の来し方を振り返って感謝の言葉を述べた。

式終了後は、校友会・蒼穹会主催による卒業祝賀会が図書会館1階の特設会場において催された。矢ヶ崎理事長が差し入れたシャンパンがグラスに注がれ、学年委員長の新木太朗君の「学年全員と支えてくださった先生方に感謝します」の挨拶で乾杯。レストラン雷鳥とスターダストによる料理が振る舞われ、途中、各講座の教授たちが祝いの言葉を述べた。



飛躍を誓う卒業祝賀会の参加者たち

卒業の喜びに満ちた学生たちは思う存分語り合い、別れを惜しんだ。

学業成績・学術文化活動を称えた各賞受賞者は次のとおり。

【矢ヶ崎康特別賞】黄晟帆

【矢ヶ崎康賞】新木太朗 浮田英彦 春日梢

【活動賞】（第45回卒業準備委員会）新木太朗（委員長）黄晟帆（副委員長）石井伶奈 植野裕司 春日梢 高坂伶子 濱田晃正

【皆勤賞】高坂伶子 永富史也 穆煥升

【精勤賞】安東孝純 浮田英彦 翁恩典 上條皓平 金穀真

金修賢 金善一 黄晨宇 田代陽介 張璐瑤 黄晟帆

堀江貴裕 松村星花 宮澤美咲 村山恵理 呂梓瑜

若山愛



矢ヶ崎康特別賞・矢ヶ崎康賞・活動賞の受賞者

皆勤賞・精勤賞の受賞者

45期卒業生

歴史を創った先輩たちへ続き、未来へ向かって良き歯科医師を目指せ！





1972年1月29日の創立以来、本学はこれまで累計で約4600人の歯科医師を世に送り出してきました。歯科医療を通じて国民の健康長寿に寄与し、それぞれが全国各地で活躍し、地域の歯科医師会役員、あるいは地方議会の議員などの要職に就いて地域社会のリーダーとして信頼されている先生方もおられます。

良き歯科医師を目指すべく、本学の先輩方に続こうと、45期生たちは、新木太郎学長を委員長を中心に学年がまとまり、毎週自主勉強会を開くなどして学力向上に努めてきました。

その結果、卒業試験をクリアした人数が多く、とりわけ皆勤賞・精勤賞の受賞者が20人にも及ぶのは近年では突出した人数であり、この学年の真面目さを物語っています。

彼らは、くしくも創立記念日と同じ1月29日(土)に今回の第115回歯科医師国家試験に挑みました。

近年は歯科医師国家試験における本学の新卒者合格率は飛躍的に向上しており、昨年の第114回歯科医師国家試験において本学の新卒者合格率は95.4%、全国の国公私立29歯科系大学の中でも堂々の第2位に躍進。34年ぶりに95%を超える快挙となっています。

27日(木)に開催された壮行会では、川原一祐学長は第115回歯科医師国家試験に向けて出発する学生たちに「緊張せずに平常心で臨めば、必ず合格する実力が皆さんにはあります」と激励されました。卒業式で矢ヶ崎理事長がおっしゃっているように彼らは本当によく頑張りました。

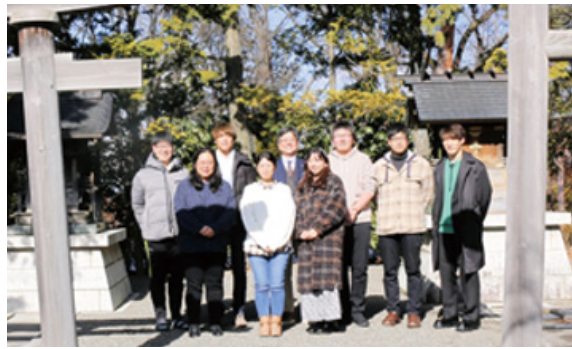
合格者の発表は3月16日(水)に行われます。社会に貢献できる心豊かな多くの歯科医師の誕生とその活躍に期待したいと思います。

第6学年学年委員が諏訪社・稲荷社に参拝 歯科医師国家試験の全員合格を祈願

第6学年は、年間を通して新木太朗君を中心とした学年委員会がまとまり、学年全体の学力向上に努めてきた。40期生の先輩たちが行っていた自主勉強会を復活させ、学生たちが講義や自習の中で生じた疑問に対して学年委員が分かる範囲で答え、学年全体の底上げを図った。

1月21日(金)には第115回歯科医師国家試験の受験に関する説明会の前に、本学敷地内にある諏訪社・稲荷社へ学年委員8人が詣でて全員の合格を祈願した。

昔、桔梗ヶ原(現・大学構内)には玄蕃稲荷大明神の祠があったと伝えられ、「社跡に石碑などを建てさせ



諏訪社・稲荷社に参拝した学年委員

蒼穹会・校友会が食支援 学生は活力を得て勉学に励む

年末年始にかけて、学生たちに勉学に万全の態勢で励んでもらうため、各学年に合ったサポートを教職員と蒼穹会、校友会が一丸となって行った。冬休み返上で勉学に取り組む学生たちには、特製ステーキや特別ランチなどが振る舞われ、学生たちは大学からの食支援に活力を得ていた。

第4学年は進級試験と位置付

けられている共用試験(2月1日CBT試験、2月19日OSCE試験)実施のため、12月9日(木)から21日(火)まで定期試験が行われた。その後4日間の日程で歯科医師国家試験予備校ドクターズセミナーの小出圭司先生、宇佐美博文先生による総合講義、27日(月)には歯科矯正学補習講義が行われ、年内の全カリキュラムを終えた。

本学レストラン「雷鳥」からは300gのジャンボステーキランチが無料で提供され、学生たちはジュシーでボリュームたっぷりの牛肉に舌鼓を打った。

第5学年は1月に予定されている臨床実地試験(CPX)、一斉技能試験(CSX)に向けて臨床実習も終盤に差し掛かっており、年末診療の最終日となった12月28日(火)には、第5学年が中心となって掲げた餅と共にステーキランチを楽しんだ。



ステーキに舌鼓を打つ第4学年生

第6学年は年明け1月5日(水・6日(木))に卒業試験が予定されていたため、12月29日(水)から1月3日(月)までの6日間、休み返上で勉強に励んだ。第115回歯科医師国家試験の合格を目指して全力で取り組む6年生には、大学食堂および中国料理レストラン「スターダスト」にて特製日替わりランチが提供された。

ある神社である。

学年委員の植野裕司君は「これまでの松本歯科大学の歴史と諸先輩方に敬意を表し、私たちも昨年の44期の先輩に続いて、ひとりでも多く国家試験に合格し、良き人間・良き歯科医師となれるよう努力したい」と健闘を誓った。

出身地の祭り・イベントをテーマに発表 第1学年「情報リテラシー」

第1学年の授業科目「情報リテラシー」では、各自に購入してもらった本学特別仕様の最新のノート型コンピュータを用いて、情報の取り扱いの注意点、コンピュータスキルの習得や情報の活用方法に関する授業を行っている。

12月22日(水)、キャンパスイン101教室において、今までの学習成果を披露する発表会が、約4時間にわたって行われた。新型コロナウイルス感染拡大

本学の卒業試験をクリアした第6学年83人は27日(木)、壮行会で教職員や在学生から激励を受け、4台のバスに分乗して試験会場の東京に向かって出発した。

(学方向上担当主任教授 岡藤範正)

大のため、海外の学生さん十数人が入国できなくなり、日本人および入国済みの学生計71人が発表した。

本年度は、昨年に引き続き、学生それぞれの出身地のお祭り・イベントをテーマとしている。現在、お祭りやイベントは、新型コロナウイルスの感染拡大のために中止や延期を強いられている。その土地出身の学生さんに、そういったお祭りやイベントを忘れてほしくない、いず



出身地の祭りについてプレゼンテーション

全国各地のほか、台湾・韓国・中国などから集まった学生達の発表は、郷土色豊かな幅広い内容となり、それぞれの発表に大きな拍手が送られていた。プレゼンテーションも各自のオリジナリティを感じさせるものであり、留学生も自分の伝えたい内容を堂々と日本語で発表することができた。

新型コロナウイルスの状況でリモート授業や会議の参加が必須である昨今、情報化社会で通用する歯科医師・歯科医学研究者を目指すためにも、コンピュータスキルとプレゼンテーション能力のハイレベル化、そして情報発信する際のリテラシー能力の向上を一層期待したいものである。そして、今回、お互いの故郷のことを知って、新型コロナウイルスの影響がなくなった頃、お互いの故郷を訪ね合える友人関係を築いていってほしい、と願っている。

(生化学講座 准教授 中村美どり)

大晦日の31日(金)はステーキと共に年越しそば、元日にはランチョと共にお雑煮が振る舞われ、ひとときの憩いの時間となった。さらに大学敷地内で収穫

したサツマイモの炊き込みご飯、おにぎり、炒飯、ミカン等の果物などが日替わりで供され、学生たちは食の支援によって多大な活力を得ていた。

コロナ対策・警備強化を万全にして実施 講義館で大学入学共通テスト

大学入学共通テストが1月15日(土)、16日(日)の両日に本学講義館で実施された。大学入試センター試験の後継として昨年から導入され、今年が2回目。長野県内では9千485人の志願があり、本学を含め14会場で実施された。

儀なくされるなど、異例の事態が発生した。

本学では、8教室で試験を行



感染対策を施して受付をする職員



試験後の消毒作業

い、2教室を予備室とし、274人が受験に挑んだ。受付では、本学職員がマスクにフェイスシールド、グローブを着用して対応にあたり、館内の至る所に手指消毒アルコールを配置した。試験終了後は、静電誘導式ガンスプレーを使用して、机、椅子、ドアノブなどを徹底的に消毒を行った。不審者対策としては、担当職員が駐車場入口に待機し、万が一に備えて刺股を準備して警備強化にあたり、2日間の試験は無事に終了した。

人事異動

〔兼務〕 山口 葉子(大学院歯学独立研究科(顎口) 口腔機能制御学講座(兼務))

吉田 裕哉(大学院歯学独立研究科(顎口) 口腔機能制御学講座(兼務))

石田 昌義(大学院歯学独立研究科(顎口) 口腔機能制御学講座(兼務))

〔契約満了〕 根橋 寛実(事務局全学事務支援課(兼務))

〔退職〕 各務 秀明(総合歯科医学研究科(顎口) 口腔機能制御学講座(兼務))

小笠原 正(総合歯科医学研究科(顎口) 口腔機能制御学講座(兼務))

佐藤 敦子(歯学部講師(眼科))

百瀬 莉沙(臨床検査室視能訓練士)

赤羽 結衣(臨床検査室視能訓練士)

石崎 玲菜(臨床検査室視能訓練士)

小野 洋子(外来看護部室主任看護師)

〔契約満了〕 鹿崎 幸恵(法務部 事務 派遣職員)

廣田 順(法務部 事務 派遣職員)

〔昇任〕 藤原 彩(歯学部学生実習指導士)

2月行事予定

1日(火) 共用試験CBT(第4学年)

2日(水) 特待生1種選考試験(第4学年)

3日(木) 一般選抜(第4学年)

4日(金) 特待生1種選考試験(第4学年)

5日(土) 編入学選抜(第4学年)

6日(日) 総合型選抜(第4学年)

7日(月) 一般選抜(第4学年)

8日(火) 特待生1種選考試験(第4学年)

9日(水) 進級試験(第5学年)

10日(木) 進級試験(第5学年)

11日(金) 進級試験(第5学年)

12日(土) 進級試験(第5学年)

13日(日) 進級試験(第5学年)

14日(月) 進級試験(第5学年)

15日(火) 進級試験(第5学年)

受験生の皆さんへ
見せてほしい 君の個性 君の情熱
※: 総合型選抜・編入学選抜の試験場は本学です。
※: 共通テスト利用選抜は、本学個別試験はありません。

●試験日 2月26日(土)
●出願期間 2月7日(月)～2月21日(月)
●試験場 本学・東京・大阪
●お問い合わせ
HOT LINE 0263-54-3210
松本歯科大学 入試広報室
www.mdu.ac.jp

Matsumoto Dental University SNS Information

